

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 宮城教育大学

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒980-0845
仙台市青葉区荒巻字青葉149

E-mail：宮教@研究協力係 <kenkyo@adm.miyakyo-u.ac.jp>
 Website：http://www.miyakyo-u.ac.jp/

児童生徒数 男子 名 女子 名 合計 1615 名
 児童・生徒の年齢 18 歳～ 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか (GCED)

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

1. ユネスコスクール研修会の開催

ユネスコスクールに加盟した学校に向けて、ユネスコスクール研修会を開催しています。2016年度は、「第5回ユネスコスクール東北大会/第6回ユネスコスクール宮城県大会」を11月に開催し、東北地方を中心に全国から多くの参加がありました。

また気仙沼市で2回行われるユネスコスクール研修会と、1回行われるESD/RCE円卓会議を支援した。白石市のユネスコスクール研修会を支援しました。その他、コンソーシアムの構成員が東北各地で開催するESD/ユネスコスクールに関連する研修会を支援しました。

・気仙沼：ESD/ユネスコスクール研修会（6月，1月）ESD円卓会議（11月）、ESD免許更新講習（7月）

・只見：ESD授業研修会（5月，10月）、ユネスコスクール公開研究会（2月）

・大仙：ESD研修会（10月）

・白石：ESD免許更新講習（8月）

東北各地で開催されるESDに関する教員研修の支援を行うとともに、ESDに関する免許状更新講習を開設しています。



2. ユネスコスクール加盟申請支援

学校・教育委員会主催の研修会でESDの理念やユネスコスクールの紹介を行い、東北地方を中心にユネスコスクールへの加盟を希望する学校に向けて、申請の方法や申請書の書き方などについて助言を行いました。支援にあたっては、地域の教育委員会や仙台広域圏ESD/RCE推進連絡会議参加団体、国際協力団体、社会教育施設、NPOなどとの連携を推進しています。

3. 教員養成におけるESDの浸透

教員養成大学として、学部教育において、現代社会が抱える多くの課題を解決する能力（地球的視野に立って行動でき、変化の時代を生き抜いていける教員としての資質）を育成するために、「現代的課題科目群（副専門）」の「多文化教育」8単位を開設し運営しました。5コースの海外研修を行っています。



4. 防災教育とESDの展開

2011年3月11日の東日本大震災以後、防災教育未来づくり総合研究センターを中心に、学生ボランティア派遣などを通じた継続的な支援を行っています。

5. 仙台広域圏RCEの活動

2005年に、仙台広域圏は、世界で最初にESDを進めるための国連大学の地域の

拠点（RCE）の7つの地域の一つとして、国連大学から認定を受けました。宮城教育大学は仙台広域圏ESD/RCEプロジェクトの事務局を担当。4地域（仙台地域・大崎地域・気仙沼地域・白石七ヶ宿地域）、大学が連携し、宮城県内のESDの推進の役割を担っています。

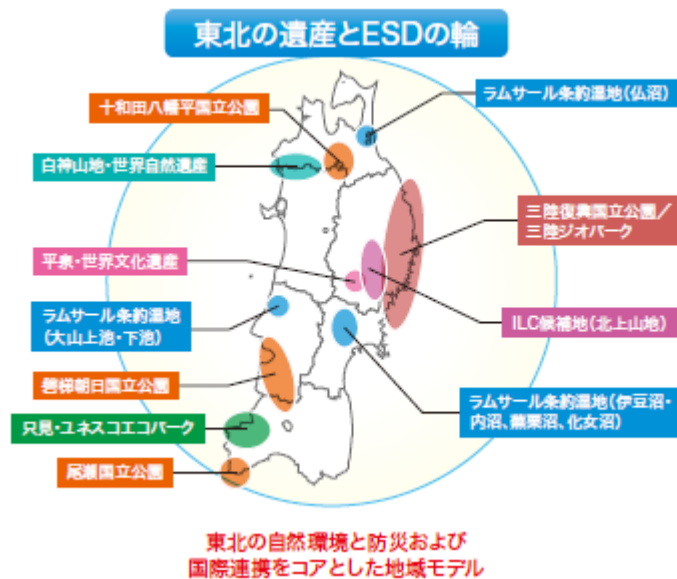
6. コンソーシアム事業

2014年から全国のコンソーシアム（ユネスコ補助金）事業として「東北の自然環境と防災および国際連携をコアとしたグローバル人材の育成とESD地域モデルの創出」が認定されています。2016年2月には「ESD/ユネスコスクール東北コンソーシアム」運営委員会が正式に発足しました。東北地方のユネスコスクール、教育委員会、ユネスコ協会・NPO、企業、社会教育施設などがコンソーシアムを形成して連携し、お互いに支援する自律的なシステムの構築に挑戦しています。

現在、ユネスコスクール（84）、教育委員会（9）、ユネスコ協会（8）、企業・産業団体（3）、仙台広域圏RCE（22）、社会教育施設等（2）、アドバイザー（3）の団体が、コンソーシアムに参画しています。

・運営委員会（10月）、総会（2月）を開催しました。（以下はコンソーシアムメンバー名簿）

団体名	役職	代表者名
仙台広域圏ESD・RCE運営委員会	委員長	小金澤 孝 昭
国連大学サステナビリティ高等研究所	所長	竹 本 和 彦
公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター	理事長	田 村 哲 夫
公益社団法人日本ユネスコ協会連盟	国内事業部主任	尼子 美博
福島県立安達高等学校	校長	渡 辺 昇
仙台市立郡山中学校	校長	高 橋 教 義
秋田県大仙市教育委員会	教育長	吉 川 正 一
気仙沼市教育委員会	教育長	白 幡 勝 美
仙台市建設局八木山動物公園	園長	大 内 利 勝
福島県只見町教育委員会	教育長	齋 藤 修 一
NPO法人環境会議所東北	代表理事	猪 股 宏
公益社団法人 仙台ユネスコ協会	会長	玉 懸 博 之
気仙沼ユネスコ協会	会長	佐 藤 春 子
アクサ生命保険株式会社	執行役・札幌本社長	小笠原 隆 裕
ユニグループ・ホールディングス株式会社	代表取締役	佐 古 則 男
気仙沼ESD/RCE推進委員会	委員長	阿 部 弘 康
大崎市教育委員会	教育長	青 沼 拓 夫
白石ユネスコ協会	会長	引 地 瑠 美 子
一般財団法人白神山地財団	理事長	渋 谷 拓 弥
宮城教育大学国際理解教育研究センター	教授	市 瀬 智 紀
宮城教育大学国際理解教育研究センター	ESDコーディネーター	及 川 幸 彦



a. ESD/ユネスコスクールのための情報提供

「ユネスコスクール通信」の発行を年に4回(季刊)程度発行するとともに、ホームページやパンフレットなど、あらゆる方法で、情報発信をはかるコンソーシアムメンバーの提供するリソースを紹介するなど積極的な情報提供を行った。

ユネスコスクール通信の発行を行いました。

東北ユネスコスクール実践事例集(前年度予算)の普及を図った。

ESD/ユネスコスクール東北コンソーシアムの構成員の活動内容をまとめたパンフレットを作成・配布しました。

b. 国内のユネスコスクールとの交流

各コンソーシアムが開催する研修会、ACCU や日本ユネスコ協会連盟などのアドバイザーが企画する ESD/ユネスコスクール研修会に、東北地方の教員が参加できるようにした。また、他地域のユネスコスクールとの交流を支援した。さらに、宮城教育大学においてコンソーシアム成果発表会(12月~2月予定)を開催しました。

c. 国外のユネスコスクールとの交流

ユネスコスクールである、仙台二華高校、富谷高校、気仙沼高校、多賀城高校のグローバル人材育成を支援しました。ICT を活用し、海外の ESD/ユネスコスクールとの交流を促進しました。

d. ユネスコスクール以外の学校での ESD 活動の実施

ユネスコスクールのない地域へのユネスコスクール参加への呼びかけを行いました。福島県只見町教育委員会、秋田県大仙市教育委員会、青森県東通村、白神山地財団など、コンソーシアムメンバーの団体の ESD/ユネスコスクール活動を支援するとともに、これらの団体を通して、福島県、秋田県、岩手県、青森県での ESD/ユネスコスクールへの普及を図った。その他各教育委員会等を訪問し、ESD の理念の紹介とユネスコスクールへの支援を呼びかけた。

- ・青森県東通村立東通小学校がユネスコスクールに参加
- ・岩手県平泉町が全校でユネスコスクール加盟申請を準備中（東北コンソーシアム）
- ・平泉小学校、長島小学校、平泉中学校
- ・宮城県富谷町が町全域でユネスコスクールに参加

e. 社会教育施設、青少年教育施設等との連携

本年度は、八木山動物園との連携事業を継続しました。また、仙台ユネスコ協会が計画している社会教育施設、青少年教育施設を活用した事業に協力しました。

- ・教員免許更新講習（選択科目）2科目の共同実施、絶滅危惧種の保全事業
- ・環境学習イベントの共同実施、国際教育協力研究（マダガスカルのESD）の実施検討
- ・動物展示教材の共同作成, ユネスコスクール郡山中学校と交流開始。
- ・仙台ユネスコ協会 宮城ユネスコ子どもキャンプ～8月13日～15日2泊3日
オーエンス泉岳自然ふれあい館（仙台市泉区福岡）
- ・その他機関との連携

平泉文化遺産センターと連携了承

福島県いわき市福島高専がコンソーシアムに参加。

（2）活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常 of 授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）